

「男女平等参画のための東京都行動計画」の改定にあたって

東京都では、平成12年に全国に先駆け制定した「東京都男女平等参画基本条例」に基づき、平成14年に「男女平等参画のための東京都行動計画 チャンス&サポート東京プラン 2002」を策定し、都民や事業者の皆さんとも連携・協力して、総合的・計画的に男女平等参画施策を推進してきました。特に、子育て支援と配偶者暴力対策の分野においては独自の計画を策定するなど、大都市東京の現状を踏まえた取組を展開してきました。

しかし、計画策定から5年の月日が経過した今日、本格的な人口減少・高齢社会の到来や、経済の急速なグローバル化に伴う雇用形態の多様化など、私たちの社会を取り巻く状況は大きく変化し、人々の価値観や生活様式も多様化しています。

今回改定した「チャンス&サポート東京プラン 2007」では、こうした社会経済状況などの変化を踏まえ、“仕事と生活の調和の推進”と“女性のチャレンジ支援の推進”を主要な柱とするとともに、雇用における男女平等参画の促進、男女平等を阻害する暴力への取組など、さまざまな分野で、これからの時代に求められる男女平等参画施策を展開することとしています。

都市として成熟を遂げつつある東京が、さらに機能的で魅力的な都市となり、都民一人ひとりがその意欲と能力に応じて多様な生き方が選択できる男女平等参画社会の実現に向けて、東京都は、事業者や都民の皆さんと連携しながら本計画を着実に推進していきます。

平成19年3月

東京都知事 石原 慎太郎